

各位

2025 年 5 月 13 日

会 社 名 株式会社ステムセル研究所

代表者名 代表取締役社長 清水 崇文

(コード番号：7096 東証グロース)

問合せ先 細胞技術本部長 執行役員 佐藤 英明

TEL. 03-6811-3235

ステムセル研究所、新たな細胞保管センターを開設 ～高まる細胞保管ニーズに対応、最新鋭の安全・効率技術を導入～

株式会社ステムセル研究所（本社：東京都港区、代表取締役社長：清水崇文、以下「当社」）は、2025 年 5 月 9 日、3 施設目となる新たな細胞保管センター（Cell Cryopreservation Center; CCC）を、ジャーマンインダストリーパーク内（所在地：横浜市緑区）に開設しました。この第 3CCC では、これまでの知見をもとに、より効率の良い液体窒素供給インフラを構築するとともに、最新機器を導入しました。また本施設は、産業ガスやエネルギー分野で長年の実績を持つ岩谷産業株式会社により施工されました。

近年、出産時に採取されるさい帯・さい帯血を保管し、将来の再生医療や先進医療への備えとするニーズが高まっています。当社は、全国の医療機関との連携強化により、年間 1 万件を超える検体をお預かりしており、その需要に応じた施設の新設・拡張は、事業上重要な施策となります。

＜最新機器による安全性と効率性の両立＞

第 3CCC では、AZENTA 社製の自動入出庫装置を導入しました。この装置により、指定した保存検体を低温環境下で自動的に引き出すことが可能となり、安全性と作業効率が同時に向上します。

<https://www.azenta.com/products/cryoarc-tera-190c-ln2-based-automated-storage-system>



▲AZENTA 社製 試料管理・保管システム
CryoArc™ Tera



▲参考：第 2 細胞保管センター（第 2CCC）

<保管キャパシティを拡張、最大 15 台の保管タンクが設置可能>

第 3CCC には最大で 15 台の保管タンクが設置できます。1 台の保管タンクには約 4,500 検体のさい帯血が保管可能です。これにより、約 70,000 検体分の新たな保管キャパシティが確保され、既存の第 1CCC、第 2CCC と合わせた総保管キャパシティはおよそ 20 万検体に拡大します。

※保管可能検体数はさい帯血を基準として換算

<細胞保管センターについて>

国内有数の規模である当社の細胞保管センターは、複数のセキュリティシステムと万全な管理体制で運営しています。詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://www.stemcell.co.jp/storage/cpc/>

■ 会社概要

株式会社ステムセル研究所は「あたらしい命に、あたらしい医療の選択肢を。」をコーポレートスローガンに、産婦人科施設との強固なネットワークを活用し、再生医療・細胞治療を目的とした「さい帯」や「さい帯血」等の周産期組織由来の細胞バンク事業及びそれらの細胞等を利用した新たな治療法、製品の開発を行っております。そして、この事業基盤をベースとして再生医療やフェムテック等関連する領域での事業開発及び投資等によるサステイナブルな成長と社会への貢献を目指しております。

設 立 年 月 日 : 1999 年 8 月 5 日 (東証グロース上場 : 7096)

資 本 金 : 7 億 480 万円

代表取締役社長 : 清水 崇文 (しみず たかふみ)

本 社 : 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-21-19 東急虎ノ門ビル 2 階

TEL/ホームページ : 03-6811-3230 / <https://www.stemcell.co.jp/corporate/>

グループ会社 : 株式会社日本トリム (東証プライム上場 : 6788)

【本件に関する報道関係のお問い合わせ・ご質問はこちら】

株式会社ステムセル研究所 細胞技術本部長 佐藤 英明

TEL : 03-6811-3235 / MAIL : stemcell@stemcell.co.jp